

第40回子どもの学びを創る会

子どもが考えたくなる授業づくり

— 総合学習で子どもが本気になる3つのポイント —

長門市立油谷小学校

石村和代



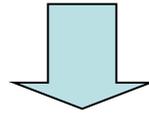
総合的な学習の時間の 目指す方向性や創設の趣旨に立ち返ると

これからの変化の激しい社会において、いかなる場面でも**他人と協調しつつ自律的に社会生活を送っていくために必要となる、人間としての実践的な力**、・・・それは、紙の上での知識ではなく、生きていくための「知恵」とも言うべきものであり、我々の文化や社会についての知識を基礎にしつつ、**社会生活において実際に生かされるもの**でなければならない

「生きる力」を初めて提唱した中央教育審議会答申より(平成8年)

総合的な学習の時間

目標 横断的・総合的な学習や探求的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探求活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。



油谷小学校の総合的な学習の時間

目標 地域の「ひと・もの・こと」と豊かにかかわり合う中で、自ら進んで課題を見つけ追究し、学び方やものの考え方を身につけ、仲間と協力して問題を解決するとともに、地域を愛する油谷の子どもを育てる。

こんな学級に

小学校生活最後の1年間

伊上小との統合
2名仲間入り

特別支援学級との交流

個別支援を要する児童の多い学級

6学年38人 **きずな**を大切にした温かな学級づくり
忘れられない思い出をたくさん残そう

総合的な学習の時間で、子ども達の**きずな**を深めよう

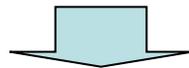
2学期の運動会が終わって数日後、

「2つのことを総合でできるの？（無理やろ！）」

「やる。」

「ぼくたちならできるに決まっているじゃないですか！」

「やりたい。」



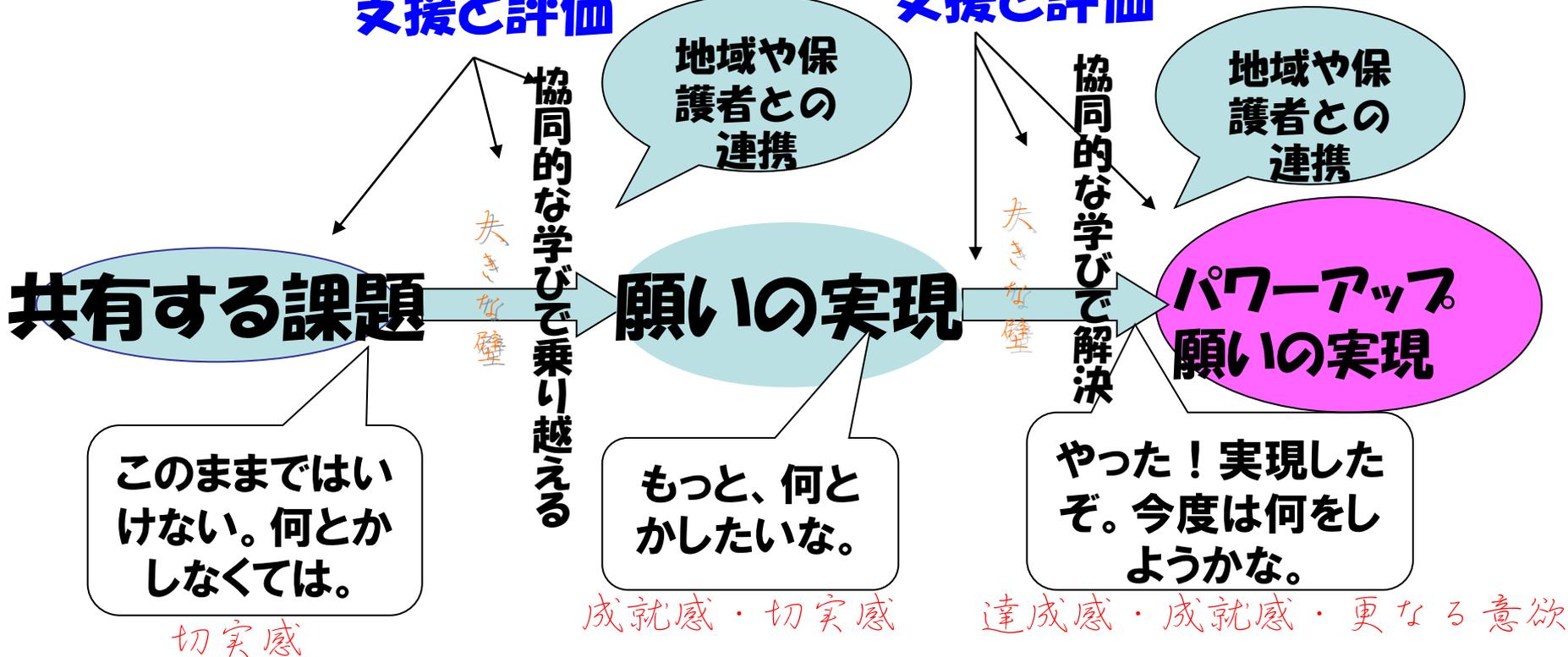
総合的な学習の時間の活動計画の変更決定！（別紙1）

総合的な学習の探求の必然性を重視する

体験活動の重視や言語活動の充実

支援と評価

支援と評価



子どもが本気になる3つのポイント

- 1 切実感をもった課題との出会わせ方
- 2 協同的な学びで支援と評価を繰り返す
- 3 達成感を十分に味わえる時間と場を設定する

1 切実感をもった課題の出会わせ方

- 「油谷小6年歴史資料館をつくろう」

この教室は、本当に郷土資料室っていえる？



どこになにがあるか分からない



6年の教室のとなり



わけの分からないものがある

このままではいけない

1 切実感をもった課題の出会わせ方

- 「油谷小オリジナル油谷ソーランをつくって踊ろう」

「まだまだ踊りたい。表現発表会があるじゃないか」



**下学年で表現できな
い部分がある**



まだ踊りたい！極めたい！

1 切実感をもった課題の出会わせ方

- ・地域と地域の人とのふれあいから学ぶ

日置民俗資料館の岡藤さん—展示方法

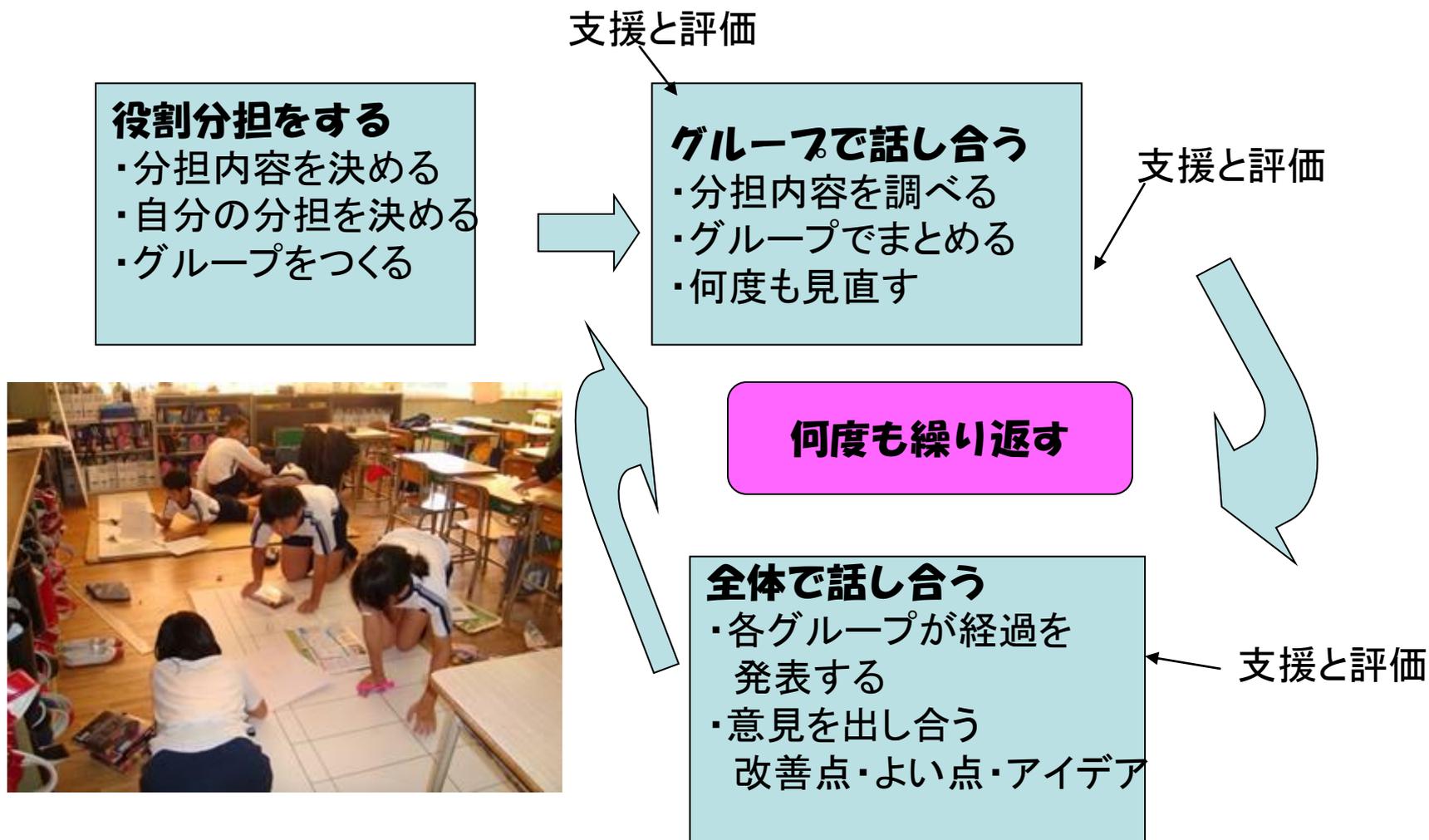
内田 彰さん—油谷の歴史

安倍 隆史さん—宝物発言

Sくん大活躍—餅つき器調べ



2 協同的な学びを支援と評価で繰り返す



2 協同的な学びを支援と評価で繰り返す

立ちはだかる大きな壁

すべて展示できない。でも宝は捨てられない

収納場所
をつくら
う。安倍
さんに相
談



収納
場所
作り



農具を入れてカーテンをつける



できた！収納場所

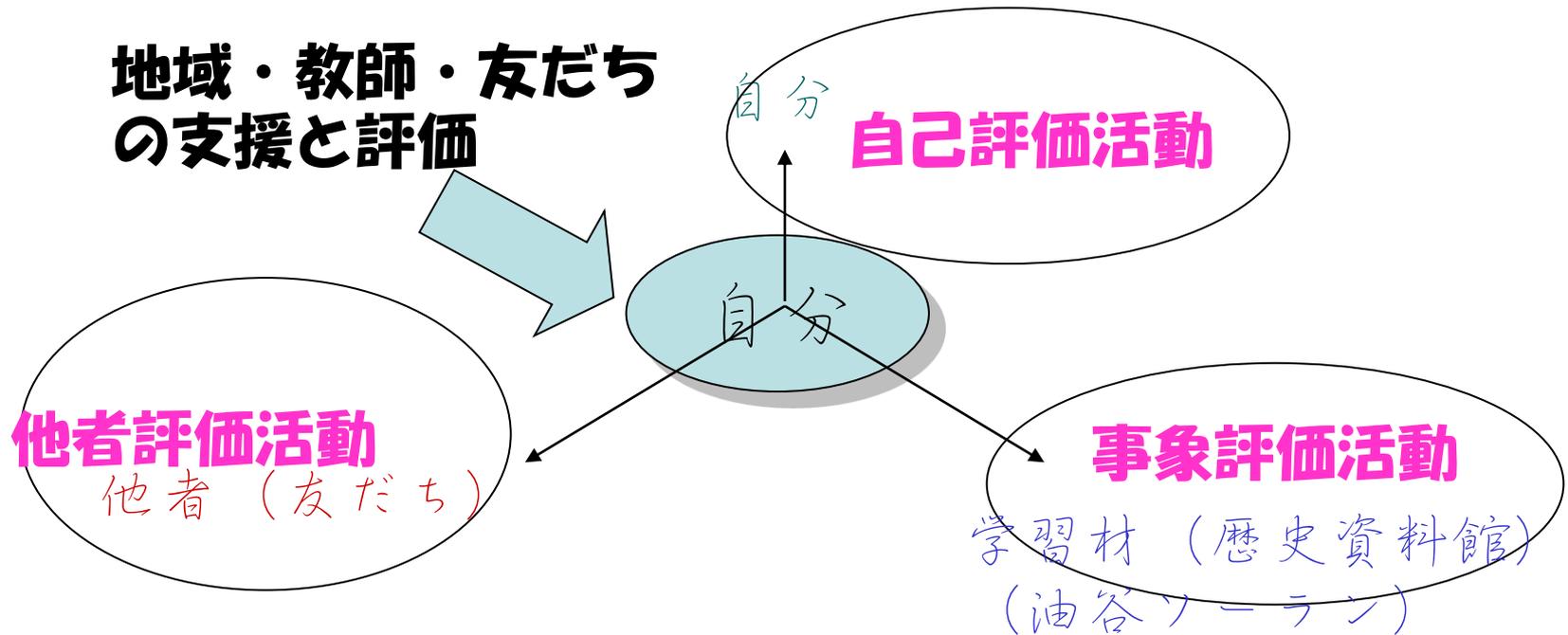
2 協同的な学びを支援と評価で繰り返す



2 協同的な学びを支援と評価で繰り返す



2 協同的な学びを支援と評価で繰り返す



※学び方：方向性

3 達成感を十分に味わえる時間と場を設定する

・表現発表会(ラポールゆや)で学習の成果を発表



このための話し合いや練習時間はリハーサルを含めわずか5時間



3 達成感を味わえる時間と場を設定する

- 歴史資料館オープンを全校にお知らせし、開館する



その後

- 保護者の後押しから大舞台へ
- 「約束が違う。やるっていったじゃない。」
- 1年に一回の大雪
- 二つの学習がもたらしたものが3学期で
- さいごのきずな